

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は 177 人となっている。主な相談内容別に見ると、「ギャンブル」が 45 人 (25.4%) と最も多く、次いで「思春期」39 人 (22%)、「その他」38 人 (21.5%) となっている。電話による相談を受けた延人員は 10,623 人、電子メールによる相談を受けた延人員は 35 人となっている。

2 栄養

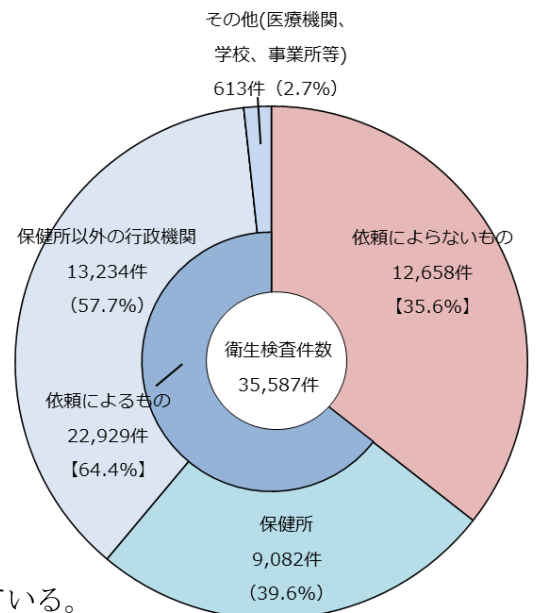
給食施設数は、前年より 13 施設増加し、985 施設となっている。

3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は 35,587 件で、依頼によるものが 22,929 件、依頼によらないものが 12,658 件となっている。

依頼経路別では、保健所以外の行政機関からの依頼によるものが 13,234 件と最も多く、そのなかでは、環境・公害関係検査が 12,486 件と最も多い。依頼によらないものでは、放射能測定が 11,883 件と最も多くなっている。

図1 衛生検査状況 令和4年度 佐賀県



4 不妊手術

不妊手術件数は 67 件で、前年と比較すると 11 件減少している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は 798 件、前年と比較して件数は 38 件減少し、実施率 (15 歳以上 49 歳以下女子人口千対) は 5.5% で、前年より 0.1 ポイント下回っている。

人工妊娠中絶実施率は、平成 13 年度から 28 年度まで低下し続け、平成 29 年度には一旦上昇したものの、平成 30 年度からは再び低下へ転じている。

図2 衛生検査状況 令和4年度 佐賀県

